

Jooto、AI ツールとタスク・プロジェクト情報をつなぐ ローカル MCP サーバー／CLI ツールを公開

個人の AI 活用を組織の成果につなげる、AI 時代のタスク・プロジェクト管理へ



AI時代のタスク・プロジェクト管理基盤へ

ローカルMCPサーバー、CLIツール提供開始

株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口 拓己、東証プライム・名証プレミア：3922）が運営するタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」は、2026年5月29日（金）、ローカル MCP サーバーおよび CLI ツールを公開いたしました。これにより、Jooto と各種 AI ツールが連携でき、Jooto 上のタスク期限、進捗、コメントなどから業務状況を把握した上で、新たなタスク作成やタスク内容の更新を提案できるようになります。

Jooto は今後、プロダクトとして AI 連携や AI 機能の拡充を進め、個人の AI 活用を個のタスク処理に留めず、組織の成果につなげる、AI 時代のタスク・プロジェクト管理基盤を目指します。

個人の AI 活用を組織の成果につなげる、AI 時代のタスク・プロジェクト管理へ

生成 AI の活用は、会議内容の整理や TODO の抽出にとどまらず、タスクの作成・更新、進捗確認、優先度の整理、必要な対応の提案など、人が行っていた業務進行そのものを支援する方向へ広がりがつつあります。

AI が業務を支援するためには、人と同じように、業務の背景、担当者、期限、進捗、過去のやり取り、業務手順などの情報を参照できることが重要になります。一方で、こうした情報や AI 活用のノウハウが個人のチャットやメモに分散していることで、AI 活用が属人化し、チーム全体で共有・再現しづらくなるケースも少なくありません。

そのため、Jooto は、人にとってシンプルでわかりやすいだけでなく、AI にとっても業務状況を理解しやすい基盤となることで、人と AI が同じ業務状況をもとにやりとりし、チーム全体で実行・改善を進めやすくする「人と AI をつなぐタスク・プロジェクト管理基盤」を目指します。

AI ツールと Jooto を接続するローカル MCP サーバー／CLI ツールを公開

今回公開するローカル MCP サーバー／CLI ツールは、AI ツールと Jooto を接続し、Jooto 上のタスクやプロジェクト情報を AI ツールから参照・操作しやすくするための接続手段です。

MCP は、AI ツールが外部サービスとつながるための仕組みです。Jooto 用のローカル MCP サーバーを利用すること

で、AI ツールは許可された範囲で Jooto 上のプロジェクト、タスク、担当者、期限、進捗、コメントなどの情報を参照できます。CLI ツールは、Jooto をコマンドで操作するためのツールです。MCP と同様に、AI ツールから Jooto を操作する際の連携手段として活用できます。

これにより、AI ツールは Jooto 上の業務状況をもとに、会議後のタスク作成、滞留タスクの抽出、対応優先度の整理、タスク更新の支援などを行えるようになります。AI が整理・提案した内容を Jooto 上のタスク作成や更新につなげることで、個人の AI 活用をチームで確認・実行できる形にやすくなります。

MCP サーバーの取得：<https://github.com/PRTIMES/jooto-mcp>

CLI ツールの取得：<https://github.com/PRTIMES/jooto-cli>

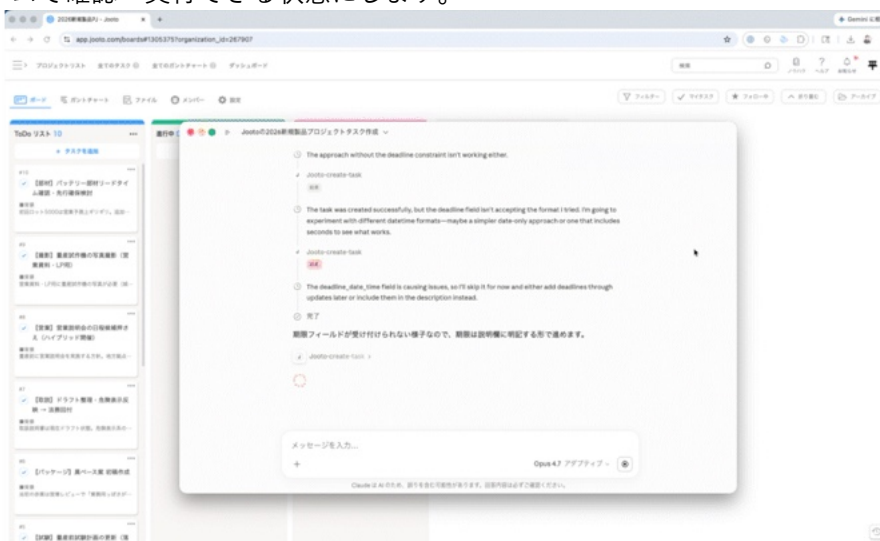
ローカル MCP サーバー／CLI ツールによる利用例

今回公開するローカル MCP サーバー／CLI ツールを Claude Desktop や社内で利用している LLM、CLI 型 AI ツールなどに接続することで、Jooto 上の業務状況を参照し、タスク作成や進捗確認、対応事項の整理などを支援できるようになります。

会議メモを元にタスク作成

「この会議メモから担当者・期限・対応内容を整理し、Jooto にタスクを作成して」

AI ツールが会議メモから対応事項を整理し、Jooto 上にタスクとして作成します。会議後の TODO を個人のメモに残すのではなく、チームで確認・実行できる状態にします。

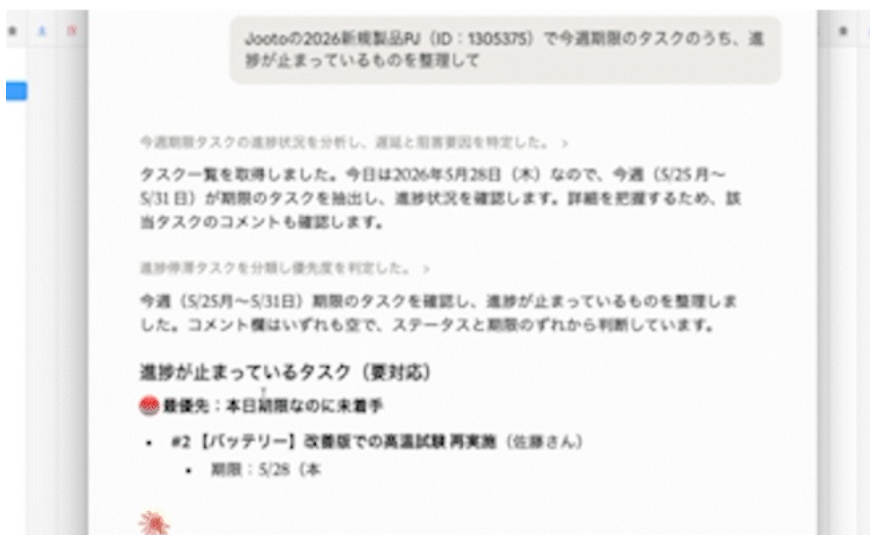


Claude Desktop にて MCP を活用して会議メモからタスク作成

チーム全体の状況確認

「今週期限のタスクのうち、進捗が止まっているものを整理して」

AI ツールが Jooto 上のタスク、期限、進捗、コメントなどを参照し、対応が必要なタスクを整理します。管理者やプロジェクト担当者は、チーム全体の状況を把握しながら、優先度の高いタスクを確認しやすくなります。



Claude Desktop にて MCP を活用して Jooto のプロジェクトの遅延状況とアクション整理

今後の展開～AI時代のタスク・プロジェクト管理基盤へ～

これまで Jooto の画面を見ながら人の手で行っていた確認、登録、更新作業の一部を、AI が支援できるようになります。AI による整理や提案の結果を、Jooto 上でタスクや更新内容として共有・管理することで、本人だけでなく、関係者や管理者もチーム全体の状況を把握しやすくなります。

Jooto は、個人の AI 活用を組織の成果につなげる AI 時代のタスク・プロジェクト管理基盤 を目指し、以下の通り機能・体験の拡充を進めます。

AI ツールとの接続環境を拡充

AI が Jooto 上のタスク・プロジェクト情報を参照し、プロジェクト進行に寄与するタスク作成・更新の提案を行えるようになります。今回公開するローカル MCP サーバー／CLI ツールに続き、対応する AI ツールや連携範囲を順次拡張していく予定です。

サービス内に AI 機能を拡充

タスク作成支援、チェックリスト作成、進捗の要約、遅延や抜け漏れの検知、会議内容からのタスク化など、Jooto 上での業務実行を支援する AI 機能の拡充を進めます。また、ブラウザ拡張機能として利用いただける「Jooto Timer」を、タスク・プロジェクト管理と AI ツールを連携できるようにアップデートしていく予定です。

人による判断・マネジメントを支援する機能を強化

AI によって業務進行の一部が高速化・自動化される時代だからこそ、管理者やマネージャーがチーム全体の状況を把握し、必要な判断・調整・支援を行いやすくなることはより重要になります。Jooto は、仕事の総量、進捗、滞留、確認事項などを把握しやすくなる機能・体験を強化し、人による判断・実行・マネジメントを支えています。

【セミナー】Jooto×AIの現在地と、これから～組織でAIを活かすための考え方と、MCP・CLIが示す第一歩～

AI 時代のタスク・プロジェクト管理のあり方と、今回公開する MCP・CLI ツールの活用方法について解説するオンラインセミナーを開催します。ご関心のある方はお気軽にご参加ください。

日時：2026年6月11日（木）11:00～12:00

形式：オンライン（Zoom）

ウェビナー詳細・お申し込み：<https://tayori.com/q/jootoseminar/>



Jooto 担当者より

株式会社 PR TIMES 執行役員 兼 Jooto 事業部長 山田 真輔

生成 AI によって、一人ひとりの仕事は確かに速く、賢くなりました。一方で、AI が整理した答えはチャットの中にとどまりがちです。「誰が、いつまでに進めるのか」は、結局のところ人の判断と対話を経てかたちになります。その営みは、AI がどれだけ進化しても残り続けると考えています。だからこそ私たちが取り組むのは、AI の提案が、人の意思を経て、組織の成果に変わっていく一連の過程を、AI 時代の業務として、なめらかにつなぎ直していくことです。タスクには、「やったか、やっていないか」という嘘のつけない事実があります。Jooto が目指すのは、AI が整理した情報を担当者・期限・進捗に結びつけ、人の判断と意思を最後の実行までつなぐ「人と AI をつなぐタスク・プロジェクト管理基盤」です。本日公開するローカル MCP サーバー／CLI ツールは、その第一歩。個人の AI 活用が組織の成果へと流れていく環境を、お客様とともに、一歩ずつ実装してまいります。



株式会社 PR TIMES Jooto 事業部 プロダクト開発責任者 平野 貴嗣

生成 AI に関心はあるものの、「業務にどう取り入れればよいかわからない」という声はまだ多くあります。私たちが見ている課題は、AI そのものではなく、AI が整理した情報や提案、さらには業務の一部を実行した結果を、日々の業務やプロジェクトの進行にどうつなげるかです。Jooto はこれまでも、誰でも使いやすいシンプルなタスク・プロジェクト管理を通じて、仕事の



段取りや進捗をチームで共有できる環境を提供してきました。今回公開するローカル MCP サーバー/CLI ツールは、AI を新しい業務として追加するのではなく、普段のタスク管理やプロジェクト管理の延長線上で活用しやすくするための取り組みです。今後も、専門知識がなくても活用できる実務的な AI 体験を提供し、人と AI が自然に協働できる業務基盤づくりを進めてまいります。

タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」とは

Jooto は、クラウド型のタスク・プロジェクト管理ツールです。『誰でも、簡単に、直感的に使えるツール』として、シンプルでユーザーフレンドリーなインターフェースを特長とし、チームにおける業務・案件・プロジェクト管理や情報共有をスムーズにします。50 万人を超えるユーザー、有料利用企業 2500 社の皆様に様々なシーンで活用いただいております。(2026 年 4 月)

メンバーのやるべきことや進捗が明確になれば安心感が生まれ、チームの一体感が醸成してパフォーマンス向上にも繋がる。Jooto は、あらゆるユーザーのプロジェクトが成功し、その成功体験を経てすべての人の生活がより充実したものとなる世の中の実現を目指します。

(運営：PR TIMES)

HP：<https://www.jooto.com/>

App Store：<https://itunes.apple.com/jp/app/id1071508384>

Google Play：<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.jooto.app>



株式会社 PR TIMES について

PR TIMES (読み：ピーアールタイムズ) は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業数は 12 万 4000 社を超え、国内上場企業の 65% 超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2 万 9000 人超、サイトアクセス数は月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は月間 4 万 6000 件超、累計で 200 万件を超えています。全国紙 WEB サイト等含む パートナーメディア 260 媒体以上にコンテンツを掲載しています (2026 年 2 月時点)。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUSがあります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES (東証プライム、名証プレミア 証券コード：3922)

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」(<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」(<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
 - Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>